

安全データシート(SDS)

製品名	RNA再結合バッファー(RBD)
1.化学物質等及び会社情報	
1.1 製品	
化学物質等の名称	グアニジンチオシアナート(チオシアン酸グアニジン、グアニジンチオシアン酸塩)
製品名	RNA再結合バッファー(RBD)
製品番号	FastGene™ RNA Premium Kit (FG-81006、FG-81050、FG-81250)
1.2 化学物質等の関連用途と推奨用途	
化学物質等の推奨用途と使用上の制限	専門ユーザー向け研究用試薬
1.3 供給者情報	
供給者の会社名称	日本ジェネティクス株式会社
住所	〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階
電話番号	03-3813-0961
ファックス番号	03-3813-0962
電子Eメールアドレス	info@genetics-n.co.jp
緊急連絡電話番号	03-3813-0961(祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分)
2.危険有害性の要約	
2.1 物質又は混合物の分類	
EC規制No 1272/2008 [CLP]による区分	
急性毒性(経口)、区分4	H302: 飲み込むと有害
急性毒性(経皮)、区分4	H312: 皮膚に接触すると有害
皮膚腐食性/刺激性、区分1C	H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
急性毒性(吸入)、区分4	H332: 吸入すると有害
水生環境有害性(長期間有害性)、区分3	H412: 長期継続的影響により水生生物に有害
67/548/EEC又は1999/45/ECによる区分	
腐食性	R34: やけどをする。
有害	R20/21/22: 吸引した場合、皮膚に触れた場合、飲みこんだ場合有害。
環境に危険有害性	R32: 酸に接触すると猛毒ガスが発生する。
	R52/53: 水生生物に有害、水生環境に長期有害影響をおよぼすことがある。
2.2 GHSラベル要素	

EC規制No 1272/2008 [CLP/GHS]によるラベリング			
危険有害性絵表示			
注意喚起語	危険		
危険有害性情報	H302: 飲み込むと有害		
	H312: 皮膚に接触すると有害		
	H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷		
	H332: 吸入すると有害		
	H412: 長期継続的影響により水生生物に有害		
補足的危険有害性情報	EUH032 酸に接触すると猛毒ガスが発生する。		
注意書き			
予防	P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。		
反応	P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。		
	P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。		
	P310 直ちに医師に連絡すること。		
2.3 その他の危険有害性			
有害性不明成分の濃度は0.1%以下			
3.組成及び成分情報			
化学名又は一般名	EC規制No 1272[CLP]による区分	CAS No. EC No.	濃度 (%)
グアニジンチオシアナート、 チオシアン酸グアニジン、 グアニジンチオシアン酸塩	急性毒性(経口): 区分4(H302) 急性毒性(経皮): 区分4(H312) 皮膚腐食性/刺激性: 区分1C(H314) 急性毒性(吸入): 区分4(H332) 慢性水生環境有害性: 区分3(H412)	593-84-0 209-812-1	5~15
4.応急措置			
4.1 応急措置			
一般情報	危険な場所から移動する。 本SDSを担当医師に示す。 医師と相談する。		
吸入した場合	被災者が意識のない場合、回復体位にし医師の手当てを受ける。 症状が続く場合、医師に相談する。		
皮膚に付着した場合	直ちに石鹼と大量の水で洗浄し汚染された全ての衣服及び靴を脱ぐ。 皮膚の腐食による傷を処置しない場合、治癒まで時間がかかり難くなるので直ちに医療手当が必要である。		

眼に入った場合	眼に少量の飛び散りが入った場合、不可逆的な組織の損傷がおこり失明することがある。 眼に入った場合、直ちに大量の水で洗浄し医師の手当てを受ける。 コンタクトレンズをはずす。 無事な眼を保護する。
飲みこんだ場合	間違って飲みこんだ場合は、直ちに医師の手当てを受ける。 水で口を洗浄する。 意識のない被災者の口に物を入れてはならない。
4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な 徴候症状	
症状	特になし
危険	飲みこんだ場合有害。 眼を重度に損傷することがある。 重度のやけどをすることがある。
4.3 医師に対する特別な注意事項	
特別な治療	特になし
5.火災時の措置	
5.1 消火剤	
適切な消火剤	水スプレー、耐アルコール性泡沫剤、粉末化学物質、二酸化炭素
5.2 物質又は混合物からの特有の危険有害性	
消火時特有の危険有害性	消火剤を排水溝や水路に入れないこと。 分解成分への暴露は健康に有害である可能性がある。
有害燃焼物質	酸化炭素類、イオウ酸化物類
5.3 消火を行う者への注意	
消火を行う者の保護具	必要に応じて自給式呼吸器を着用する。
その他情報	火災及び/又は爆発が起こった場合、煙を吸引してはならない。
6.漏出時の措置	
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	
人体に対する注意事項	個人用保護具を着用する。 適切な排気を実行する。 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。
6.2 環境に対する注意事項	
環境に対する注意事項	製品は排水溝に入れないこと。 作業が安全であればさらに漏れ、流出を防ぐこと。
6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材	
浄化法	不活性吸収剤で吸い取る(例えば、砂、シリカゲル、酸結合剤、万能結合剤、おがくず)。 適切な密閉廃棄用容器に入れる。 不適切な洗浄剤: 次亜塩素酸ナトリウム
6.4 その他の項目との関連	
人体保護については本書8.を参照のこと。	
7.取扱い及び保管上の注意	

7.1 安全取扱い注意事項	
安全取扱い注意事項	蒸気/粉塵を吸入しないこと。 皮膚および目に触れさせないこと。 人体保護については本書8を参照のこと。 製品使用場所では喫煙、飲食はしないこと。 洗浄水を地方自治体および国の規制にしたがい廃棄すること。
火災防止	通常の防災対策をとること。
一般的労働衛生対策	製品を飲食物の近くに置かないこと。 休憩前および作業終了時には手を洗うこと。 特に狭い場所では適切な排気をかならず行うこと。 皮膚および目に触れさせないこと。 製品を使用中は飲食、喫煙しないこと。
7.2 混触危険物質などとの安全な保管条件	
保管室および容器の要件	乾燥し換気性の良い場所で容器を密封して保管すること。
保管条件の詳細情報	指定通り保管及び使用する場合、製品は分解しない。
7.3 特定最終用途	
特定最終用途	専門ユーザー向け研究用試薬
8. 暴露防止及び保護措置	
8.1 管理パラメーター	
生物学的職業暴露限度値のある物資は含まない。	
8.2 暴露管理	
個人用保護具	
眼の保護具	保護用ゴーグルをぴったり着用する。 異常プロセスの場合のため保護面および保護衣を着用する。 コンタクトレンズをはずす。 洗眼器および安全シャワーを職場の近くに必ず設置すること。
手の保護	材質だけでなく他の品質に関し、単一のメーカーに限らず他のメーカーからも適切な手袋を選択する。透過性と破損時間はメーカーの情報に注意し、特別な職場の状況（機械的ひずみや接触時間）にも注意する。
皮膚及び身体の保護	職場の危険物の量と濃度により身体の保護具を選択する。 耐酸性保護衣を着用する。 化学物質用の保護靴を着用すること。
呼吸器の保護具	蒸気が発生した場合、適切なフィルターのついたマスクを使用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
9.1 物理的及び化学的性質情報	
外観(物理的状态)	液体
色	データなし
臭い	特有の臭い
臭いの閾値	データなし

pH	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
火炎燃焼性(固体、気体)	データなし
引火又は爆発範囲の上限	データなし
引火又は爆発範囲の下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	データなし
密度	データなし
水への溶解度	データなし
その他溶媒への溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	未定
分解温度	データなし
粘度	データなし
動粘度	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
9.2 その他情報	
分子量	データなし
10.安定性及び反応性	
10.1 反応性	
指定通り保管及び使用する場合、製品は分解しない。	
10.2 化学的安定性	
指定通り保管及び使用する場合、製品は分解しない。	
10.3 危険有害反応の可能性	
危険有害反応	推奨保管条件で安定。 燃焼条件で有害な分解物が発生する。 チオシアン酸塩は強酸に触れると有毒ガスを発生させることがある。 酸化剤及び酸性又はアルカリ性製品の近くに置かないこと。
10.4 避けるべき条件	
避けるべき条件	データなし
10.5 混触危険物質	

避けるべき物質	データなし
10.6 危険有害な分解生成物	
危険有害な分解生成物	指定通り保管及び使用する場合、製品は分解しない。
11.有害な影響の情報	
11.1 有害影響情報	
急性毒性	
飲みこんだ場合有害。	
製品	
急性経口毒性	急性毒性推定値 : 1,578 mg/kg 方法 : 計算方法
急性吸入毒性	急性毒性推定値 : >20 mg/l 暴露時間 : 4時間 試験環境 : 蒸気 方法 : 計算方法
急性経皮毒性	急性毒性推定値 : >2,000 mg/kg 方法 : 計算方法
成分	
グアニジンチオシアナート(チオシアン酸グアニジン、グアニジンチオシアン酸塩)	
急性経口毒性	LD50 経口 (ラット) : 593 mg/kg
急性経皮毒性	急性毒性推定値 : 1,100 mg/kg 方法 : 急性毒性点推定値
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
重度のやけどをすることがある。	
製品	
所見	極めて腐食性があり細胞組織を破壊する。 重度のやけどをすることがある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	
眼を重度に損傷することがある。	
製品	
所見	眼を不可逆的に損傷することがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
皮膚感作性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	
分類できない	
発がん性	
分類できない	
生殖毒性	

分類できない	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	
分類できない	
特定標的臓器毒性 - 反復暴露	
分類できない	
吸引性呼吸器有害性	
分類できない	
その他情報	
データなし	
12.環境影響情報	
12.1 生態毒性	
製品	
魚類有害性	データなし
藻類有害性	データなし
バクテリア類有害性	データなし
成分	
グアニジンチオシアナート(チオシアン酸グアニジン、グアニジンチオシアン酸塩)	
ミジンコ及び他の水生無脊椎動物への毒性	EC50 (ミジンコ) : 42.4 mg/l 暴露時間 : 48時間
12.2 残留性と分解性	
魚類有害性	データなし
12.3 生物蓄積性	
製品	
生物蓄積性	データなし
12.4 土壌中の移動性	
データなし	
12.5 難分解性毒性および極難分解性評価結果	
製品	
評価	有害性不明成分の濃度は0.1%以下。
12.6 他の有害影響	
製品	
その他の環境影響情報	所見: 専門的でない取扱いあるいは廃棄の場合、環境有害性は排除できない。
13.廃棄上の注意	
13.1 廃棄方法	

残余廃棄物	製品は排水溝、水路あるいは土中に入れてはならない。 認可された廃棄物管理会社へ送る。 有害廃棄物として地方自治体及び国の規制に従い廃棄すること。
汚染容器及び包装	未使用製品として廃棄すること。 空になった容器は再使用しないこと。
14.輸送上の注意	
14.1 国連番号	
危険物として規制されない。	
14.2 国連出荷正式名	
危険物として規制されない。	
14.3 輸送における国連危険有害性クラス	
危険物として規制されない。	
14.4 容器等級	
危険物として規制されない。	
14.5 環境有害性	
危険物として規制されない。	
14.6 使用者のための特別予防措置	
人体保護については本書8.を参照のこと。	
14.7 大量輸送(MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるバラ積輸送される液体物質)	
対象外	
15.適用法令	
化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
PRTR法(化学物質排出把握管理促進法)	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物
国内及びその他の国の要求事項	当該国の国際法令に準ずること。
16.その他の情報	
本情報は当社の現在の知見に基づく。しかしながら、本情報はいかなる特定製品の特性を保証するものではなく、法的に有効な契約関係を築くものでもない。	